



赤麻小だより

第13号

平成26年11月 4日
発行所：栃木市立赤麻小学校校長室

学校では休み時間になると、持久走大会に向けて、校庭を一生懸命に走る元気な子どもたちでいっぱいになります。落ち葉の舞う中、今年の各自の目標タイムを目指し、自分ペースを作りながら練習に励む姿は、どの子どももたくましい「あかまっ子」です。

季節は11月7日(金)に立冬を迎えると、早くも冬。山にも里にも冬の気配が感じられてきます。木々の葉が落ち冷たい風が吹き、冬枯れの様子も目立ってくるのでしょう。ただ、今年の秋は暖かい日も多くありましたので、最近になりようやく朝晩の冷え込みを感じるようになったところです。学校の紅葉は進んでおりません。桜の木は風が吹くと、その葉が次第に少なくなっていますが、銀杏の木はまだ緑色が多く黄葉しておりません。赤麻小の秋らしい風景に出会えないまま、強風の吹く厳しい冬となるのは寂しいような気がしております。

さて、2学期も折り返しとなりました。学校では6年生が卒業記念写真の撮影も始まり、いよいよ小学校のゴールへ向かって動き出しました。11月も様々な行事や活動を計画しております。地域の皆様にも参加していただけるようご案内する行事もありますので、お時間のつくものがありましたら、ぜひ学校までお越しいただき、子どもたちの様子をご覧いただければと思います。

平成26年度も後半になります。赤麻小の子どもたちが、より大きく成長できるよう、全教職員で指導支援してまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



子どもたちの活動から

【読書の秋、満喫！】今年の校内読書週間は10/20～10/24でした。

『読書週間』は、昭和22年に「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という目的で開始されたそうです。最近では、コンピュータや情報通信端末の発達に伴い、携帯電話やタブレットでも読むことができる電子書籍も登場し、「本」の形の変化とともに人々と本の関係も変わってきているのかもしれませんが。読書の方法は様々であっても、本の世界は、豊かな心と想像力、そしてたくさんの知識を私たちに与えてくれます。

本校の読書週間では、親子読書、読書集会、お話人形劇の上演などを実施いたしました。



(上)
藤岡地区お話し会
コロボックルの皆
さんによる人形劇
「さむらいぎつね」
(下)
図書委員会主催
の読書集会
作文や標語、ポ
スターの表彰と読
み聞かせ「いじる
なないしょオバケ」



子どもたちは、身を乗り出して、一生懸命鑑賞していました。コロボックルの皆様、ありがとうございました。



【さわやかラーニングタイムのスタートです！】



一日のスタートで、楽しく学習に向かうスイッチを入れるため、週に2回「さわやかラーニングタイム」という時間を設定しました。11月の「学びの窓から」をご紹介します。

11月の予定

- 1日(土) 藤岡地区理科展 (遊水地会館)
- 3日(月) ■ 文化の日
- 4日(火) 4年昔の暮らし体験
清掃ボランティア
歯磨き週間～10日
- 5日(水) 集金日
- 6日(木) 交通安全感謝会
- 7日(金) わたらせ風の子音楽祭
2年親子活動・放課後教室
PTA合同部会
- 8日(土) 栃木市教育祭～10日
- 10日(月) 3年クラブ見学
清掃ボランティア
- 11日(火) 一斉下校13:00
- 12日(水) 合同宿泊学習
清掃ボランティア
- 14日(金) 6年茶道体験・放課後教室
- 17日(月) 清掃ボランティア
- 18日(火) 読み聞かせ
- 19日(水) 特別日課・持久走大会
授業参観・P教育講演会
6年ネットトラブル講座
- 20日(木) 6年高齢者との交流会
第2回学校評議員会
- 21日(金) 清掃ボランティア
- 25日(火) 1年校外学習
清掃ボランティア
放課後教室
- 26日(水) 創立記念行事(音楽会)
- 28日(金) 3年せんべい工場見学
放課後教室
- 29日(土) 小さな親切運動表彰式

学びの窓から

学習指導部より

さわやかラーニングタイム始めます！

本校では、児童一人一人に合わせた補充学習を行い、個々の学力を伸ばすと共に、自信をもって学習に臨めるようにするため、さわやかラーニングタイムを始めることにしました。

あかまっ子タイム(8:20～8:35)の火曜日：国語、金曜日：算数の既習学習等を行います。担任の他に校長先生を始め、全職員で指導に当たります。

児童が「できた」「分かった」「がんばってよかった」という気持ちをたくさんもてるよう、取り組みたいと思います。

ことば あ・れ・こ・れ(6)

季節ごとの山の表情を表す言葉を紹介しましょう。

春のさわやかな様子は「山笑う」
夏の青々とみずみずしい様子は「山滴る」
秋の紅葉する様子は「山粧う」
冬の枯れた寂しい様子は「山眠る」

山の命を感じる言葉です。



